

事業報告

1957年度



1957年度
12

琉球水産研究所

[沖縄県公文書館]



6800019058

事業報告 1957年度

K66
R

目 次

漁 撈 部

1.	1957年度漁撈部の試験研究の概要	1頁
2.	鯖跳釣漁業調査	1
3.	酵素鋸屑餌料に依る釣獲試験	3
4.	鯖跳釣及棒受網漁業に於ける餌料の節減方法	4
5.	鯖漁場調査	8
6.	さんま漁場調査	16
7.	するめいか漁場調査	17
8.	さつぱいわし漁業試験	22
9.	水するるの生態調査並活魚試験	23
10.	沖縄近海の鯨回游状況調査	25

製 造 部

1.	1957年度製造部試験研究の概要	28
2.	沖縄ひじきの加工利用試験	28
3.	沖縄もづくの塩蔵並貯蔵試験	33
4.	琉球近海に於ける有用介類及棘皮動物の棲息状況調査	35
5.	水産加工指導講習会の状況	40

増 殖 部

1.	鯉種苗養成配布	41
2.	テラピア対鹹試験	43
3.	稚鰻の遡上調査	45
4.	ヒトエグサ養殖試験	50
5.	牡蛎採苗試験	55
6.	養貝適地調査	56
7.	海苔調査(粟国島)	59
8.	食用蛙調査及漁業状態調査(伊平屋島)	59



〔6〕クさんまク 漁場調査

1955年以來の継続事業として実施した。

1 調査の方法

A	使用船	備船 漁集丸	30トン 65HP
B	漁法	棒受網	
C	漁場	各鯉曾根及魚釣島近海	
D	漁期	1月19日～3月19日まで	3回

II クさんまクの調査概要

クさんまクの琉球近海に來遊する時期は明らかではないが大体11月より翌年4月頃迄を指定されている水温關係から見て15℃～23℃の間ではないかと見られる是に適當とする水温は琉球近海では1月～3月迄である本年は1月24日～26日迄鯉曾根を目標に調査し2月14日～2月18日第二回、第三回3月6日～3月21日迄17日間魚釣島方面の調査をしたがさんまの魚群を發見することは出来なかつた。

本年2月下旬魚釣島附近にさんまの浮上群を發見したとの情報があつた。(南栄丸)

「参考」琉球近海に於けるさんま浮上發見状況

(琉球近海さんま稚仔採集位置表1956年度事業報告書参照)

月 日	漁 場 位 置	点 灯 時 間	集 魚 状 態
2月14日	N26° - 33' E127° - 16'	19時 ~ 21時間	集魚なし
〃	N26° - 25' E127° - 13'	22時15分～24時間	〃
2月15日	N26° - 10' E127° - 135'	1時 ~ 3時	〃
〃	N26° - 17.4' E127° - 15.3	3時55分～6時	〃
2月17日	N26° - 49' E127° - 42'	22時45分～24時	〃
〃	N26° - 42.1' E127° - 41.3'	24時 ~ 1時	〃
2月18日	N26° - 44' E127° - 39'	1時 ~ 3時	〃
〃	N26° - 44' E127° - 40.3'	3時40分～6時	〃

天候悪く操船困難で思う様な調査が出来なかつた。

イ. 航海実績

2月14日10時30分泊港出發19時より15日6時まで上記の漁場にて調査、2月15日天候悪化10時渡嘉敷港にひなんす。

2月17日21時30分渡嘉敷港出港19時より翌日6時まで操業試験をしたが集魚なく再び時化のため帰路につく。

尚 1月24日琉球曾根、25日大正曾根、26日伊平屋曾根に於いて集魚の試験を実施したがさんまの集魚はなかつた。

3月6日～3月21日まで魚釣島で調査したが時化のため調査出来なかつた。

ロ. 航跡及観測表別紙の通り

(7) するめいか漁場調査

1955年以來の継続事業として実施した。

1 調査の方法

A	使用船	傭船 魚集丸	30吨 65HP
B	漁法	いか釣 擬餌釣	
C	漁場	久米島 NW100 尋線	
D	漁期	4月3日～4月7日	

II 調査の概要

(1) 調査の範囲

125° - 35' E 27° - 02' N

125° - 32' E 27° - 10' N

125° - 33' E 27° - 10' N

電力7K、発電機利用120V、200W、10灯

餌料鯖跳釣の要領に基き少量づつ撒餌(さんま)を投入す

漁具、当所試作のいか擬餌釣(旗魚の鼻、鯨の骨製)

結果一前記調査方法に基き各漁場とも1時間10分づつの時間を以つて釣獲試験を実施したが集魚率が悪く船側まで来遊するのは極めて少なく従がつて漁獲も少なかつた。

漁具に対する喰付は当所試作漁具が割合良好であつた、今後同種漁具を使用して「するめいか」漁業が成長すると思われる。尚とびいか釣漁業にも該漁具を利用することが出来る。

ハ. 漁獲状況

漁場	表面水温	集魚	釣獲
N27° - 02' E125° - 35'	20.2 °C	5	2
N27° - 10' E125° - 32'	20.9 °C	7.8	5
N27° - 16' E125° - 33'	18.5 °C	20	13

北上するに従い水温降下し漁獲率も増大する傾向があつた。今回の調査はすでに時期が遅れている様に思われたので今後時期を見計らい調査の必要がある。